

第4回 国大化学会同窓委員会報告

国大化学会企画G 小野塚 新（昭和54年電化卒）

テーマ：「大学の現状と国大化学会の活動」
 日時：2014年5月31日（土）14：00-15：30
 場所：横浜崎陽軒本店
 出席者：29名（学生役員5名，新規同窓委員3名を含む）

5月31日に横浜崎陽軒本店で開催された同窓委員会には、29名ものご出席をいただきました。そのうち8名は学生役員と昨年度学生役員が卒業後、同窓委員として加わっていただいた方々です。同窓委員約150名に国大化学会への理解を深めた若い方々が毎年加わっていきます。

同窓委員会では、国大化学会から平成25年度の活動報告とともに、同窓委員の皆さんに情報発信の核となつていただくことをお願いしました。

同窓委員からは、国大化学会からの情報発信の頻度を上げるべきとのご意見がありました。熱いご意見をいただき、誠にありがとうございました。

主な内容：

1. 平成25年度活動報告「学生支援の充実へ」
 平成25年度の国大化学会の活動は、さらなる「学

生支援の充実」を目指しました。

金銭面の支援：

下図に示すように、教育研究支援基金運用で、学会参加費補助を50名に提供しました。また、成績優秀者への大学からの表彰14名の副賞を一人当たり2千円から5千円に増額して贈りました。

情報面の支援：

先生方並びに学生の方々の協力を得てラボツアーを実施したことが大きな目玉でした。卒業生にとっては、大学の今を感じ、刺激を受けた体験でした。また、これから研究室を決めようとする学部2年，3年の学生も参加し、これからの進路検討への情報提供にもなりました。

同窓委員会では、ラボツアーの1，2年おきの継続開催、運営面での研究室見学スケジュールや見学方法の改善が要望されました。次回以降の企画に反映させてまいります。

OB / OGと語る会：

化学コース学部3年生を対象に、授業の一環として継続して実施しており、平成25年度は、坂田明氏（昭和46年応化卒）と宮本悦子氏（平成12年工博修了）にご講演をお願いしました。

| 平成25年度 学生支援活動 | |
|---------------|---|
| 金銭的 援助 | 教育研究支援基金(約630万円)運用 平成25年度 支出計約39万円 (H24年度 33万円) |
| | 学会参加費補助(継続) 229,200円(50名) |
| | 成績優秀者表彰の副賞(図書カード) 5,000円に増額(14名) |
| | 化学コース2年生歓迎会賛助(継続) 80,000円(98名) |
| | 就職準備講座 懇親会、OB訪問交通費支援(継続) 奨学資金的な支援(本年度該当者なし) (200,000円) |

| 平成25年度 学生支援活動 | |
|---------------|--|
| 情報 | 研究室ツアー (H25. 6/8) (総会と同窓委員会の共同新規企画) ・ 化学系研究室研究内容ポスター展示と化学種研究室見学 |
| | OBとの交流 |
| OBとの 交流 | OBと語る会(継続) (H25. 7/2) 化学コース 学部3年生対象 ・ 坂田明氏(応用化学S46卒) 昭和電工株式会社元研究所長、監査役 ・ 宮本悦子氏(H12工博修了) 東京大学医学研究所-インタラクティブ医科学部 学部門長、特任准教授 |
| | OBを訪ねての企業見学、OBとの懇談(継続) |
| 就職支援 | 就職準備講座 (継続検討中) |
| | その他 |
| | OBの著書の寄贈書棚設置(継続) 約40冊 閲覧・貸し出し |

2. 同窓委員と国大化学会各グループの意見交換

国大化学会の各グループから、活動の内容を詳しく紹介し、ご意見をいただきました。今後の活動に反映させてまいります。

主なご意見：

- ・情報発信について：
 - ・会誌については若手に興味を持ってもらえるような紙面作りを期待する。
 - ・メルマガやホームページなど会誌以外での情報発信の頻度を上げるべきである。
- ・会員情報システムの整備・活用について：
 - ・インターネット弱者対応として、冊子体での名簿の必要性につき質問があり、希望により冊子体名簿の購入が可能であることを役員から説明。
 - ・活用方法については、クラス会情報を本シス

テムに掲載するなどして、会員の参加意識を高め、会費納入促進へとつなげていきたいと考えていることを役員から説明。

- ・会員情報システムの情報漏洩対策につき質問があり、セキュリティ対策が取られたシステムであることを役員から説明。
- ・会費について：

会費納入率向上の方策について質問があり、会費は会の運営、会誌発行と総会開催費用でほぼ収支が均衡している。

寄付金は、平成25年度から教育研究支援基金に繰り入れることにし、学生支援に使用することにした。寄付の使途を明確化することで会費納入率向上につなげたいと役員から説明。

| 国大化学会 平成25年度 活動状況 全般 | |
|---|--|
| 会員総数 約 6,800名 会費納入者 約1,541名(連絡可能者約3,900名の約40%) 収入3,917千円 収支 △351千円 | |
| 役員 第4期 | 役員会 3回、GL会議 1回、名簿WG 4回、 校友会検討委員会 3回 |
| 総会・講演会・懇親会 (学内開催) | 第7回 6/8開催、120名 (内学生57名) |
| 総会同窓委員会合同ラポツアー | 化学系研究室研究内容の ポスター展示、 化学棟研究室見学 |
| 会誌・名簿 | 第11号 発行9月 「国大化学会ニュース2013」発行4月 |
| ホームページ・メルマガ発行 | HP更新、メルマガ12回発行 |
| 学生支援活動 | 詳細次ページ |
| 大学・他同窓会との連携 | 校友会検討委員会 他同窓会・同窓会連合会合等へ出席 |

3. まとめ

国大化学会の意義を、「学生支援」と位置付けることを確認し、さらなる充実を図ります。

具体的には、

- ・教育支援基金から積極的に支出し、学会参加費支援、成績優秀者表彰、博士課程奨学資金支援など（学生、OBに目立つ活動）の継続
- ・「OB / OGと語る会」、「OB訪問」、「就職支

援講座」継続

- ・総会の大学開催 + 研究室ツアーの1,2年おき開催（検討中）
 - ・同窓委員を通じた広報を充実、会員情報システムの整備・活用
- 学生役員の国大化学会への積極参加が継続中です。若い年代の参加が広がることを期待しています。
- 以上